

生産期間の管理のキーポイント：レッドプロミニ×レッドプロ

23週齢時に5%平均産卵を達成するために148～154日齢の間に光線刺激を与えるべきです。日産卵が5%に達したら、60%日産卵までに最大給餌量を達成することに向けて1日3～4gずつ給餌量を増やします。

メスの給餌は、午前と同様に午後もすべての給餌システムに十分な量がある場合は、午前と午後に分けるべきです。通常1日の給餌量の60～70%は午前に与えられるべきです。

午前の給餌は点灯後2時間続けるべきです。例えば、午前6時に点灯したら6時半～8時まで給餌します。午後の給餌は13時からです。これは食欲刺激を促進させ、また巢外卵を減らすためです（産卵の時間を通して給餌しないこと）。

レッドプロミニ

エリア： 最大8羽/m ²	オス
給餌器： トイ 12 cm/羽 12～14羽/ラウンドパン 14～16羽/楕円形のパン	斉一性を維持するために給餌スペースの競争を奨励します。
給水器： 6～8羽/ニップル 80羽/ベルドリンカー	例：常に8羽/パンを維持してください。
ネスト： 40～45羽/片側（集合ネスト）、4羽/穴（1穴タイプ）	

配雄率は鶏の状態や行動に合わせて調整されるべきです。

配雄率	移動時	9.0%	産卵開始時	8.5%
	30週齢	8.0%	40週齢	7.5%
	50週齢	7.0%	60週齢	6.5%

レッドプロミニの光線プログラム

週齢	日齢	点灯時間	照度 (lux)
18	126	10	5 - 10
19	133	10	5 - 10
20	140	10	10
21	147	10	30
22	154	11	35
23	161	12	40
24	168	13	40 - 60
25	175	14	40 - 60
26	182	15	40 - 60
27	189	15 - 16	40 - 60

給餌プログラム これはガイドであり下記を想定しています。

	Kcal	MJ	CP%
19週齢～1%産卵：	2675	11.2	15.25
1%産卵～卵重60g：	2750	11.5	16.25
卵重60g以降：	2730	11.3	15.75

体重指標（飼料を含む）

週齢	日齢	RBM	RB	卵重
17	119	1563	2625	
18	126	1650	2782	
19	133	1736	2938	
20	140	1822	3095	
21	147	1906	3254	
22	154	1986	3413	
23	161	2060	3551	48
24	168	2124	3688	51.3
25	175	2182	3795	52.1
26	182	2230	3863	52.9
27	189	2272	3932	53.5
28	196	2310	4001	54.2
29	203	2330	4070	54.9
30	210	2348	4134	55.6
35	245	2418	4218	58.7
40	280	2485	4346	61.1
45	315	2518	4452	63.2
50	350	2547	4558	64.8
55	385	2574	4664	66
60	420	2602	4770	66.9
65	455	2630	4850	67.7

給餌量 g/羽			
RBM	ME Kcal/日		RB
70			100
74			105
78			110
82	219		115
85	227		120
89	238		125
5%産卵から3g/日			125
60%産卵までに最高量	360		125
136	360		125
136	360		125
136	360		125
136	360		125
136	360		125
136	360		125
136	360		125
136	360		125
136	360		125
134	356		125
132	350		125
130	345		125
128	342		125
126	340		125
125	335		125

注釈：給餌量は成績、飼料の質、環境、管理状態に依ります。これらの要因にもとづいたプログラムを採用するように準備ください。産卵初期の間に隔日給餌をしてはいけません。これは推奨されません。

ピーク後の給餌量減量：産卵率、体重、卵重にもとづき、35週齢から3週間ごとに1g減らします。